



各 位

2021年7月14日

会 社 名 日 本 光 電 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 荻 野 博 一
(コード番号 6849 東証第1部)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 統 括 部 長 吉 澤 慶 一 郎
(TEL. 03 - 5996 - 8003)

2022年3月期第1四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年3月期第1四半期(2021年4月1日～2021年6月30日)の連結業績につきまして、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績見通しおよび前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 年 同 期 実 績 (A) (2021年3月期第1四半期)	38,461	1,831	1,581	1,060	12.46
当 期 実 績 見 通 し (B) (2022年3月期第1四半期)	46,500	6,000	6,000	4,000	47.23
増 減 額 (B－A)	8,039	4,169	4,419	2,940	
増 減 率 (%)	20.9	227.7	279.5	277.4	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	199,727	27,094	28,374	18,243	214.21

2. 差異が生じた理由

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、国内、海外ともに、前年同期実績を大きく上回る見込みとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大により検査・手術件数が減少した前年同期に比べ、生体計測機器など一部製品の需要が回復しました。また、国内では、補正予算を背景とした医療提供体制の整備が継続し、生体情報モニタが好調に推移しました。海外においても、米国での大口商談の受注、インド、中南米での感染再拡大による需要増により、生体情報モニタが好調に推移しました。

利益につきましても、増収効果に加え、売上総利益率の改善により、前年同期実績を大きく上回る見込みとなりました。

なお、本年5月13日に発表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、第1四半期決算発表時(2021年8月4日予定)に公表いたします。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以上